

項目		新編 新しい算数 (東京書籍)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり		<p><基礎的・基本的な知識・技能を身につける> ○基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のため、児童が自分の力に応じた補充問題に取り組んだり、目次に前の学習と後の学習が示されたりして自分で学び直しをしたりできるように配慮されている。</p> <p><見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する> ○問題場面で既習の内容をもとに見通しをもったり、式、図、言葉などの数学的な表現を用いて自分の考えを表現する活動、他者の考えを読み取って説明したりする等の活動を取り入れて数学的な思考力・表現力の育成が図られるように工夫されている。</p> <p><算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く> ○算数的活動を通して、数理的な処理のよさに気づき、自学自習の習慣を身に付け、主体的に学習できるよう工夫されている。また、実際のデータを数学的に解釈することで、算数の有用性を実感するような活用型の問題にも対応できるよう配慮されている。</p>
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○計算の仕方を考える学習では、図、式、言葉に関連づけて複数の考えからまとめたりする等、学習の過程を丁寧に扱っている。また、学習のめあて、考えるときの手がかり、まとめが示され、授業で「見通し・振り返り」が展開できる構成になっている。題材の終わりには、「力をつけるもんだい」「しあげ」、巻末には「ほじゅうのもんだい」があり、習熟度に応じて、基礎的な技能が確実に習得できるよう工夫されている。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫> ○問題解決的な学習の流れに沿って、複数の考え方を示している。課題解決において、テープ図、数直線等の図を用いることができるよう系統的に構成されている。「考える力をのぼそう」「おもしろ問題にチャレンジ」では、身近な事について図・式・表を使って考える問題を掲載している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○児童が主体的に課題解決を行えるように「算数マイノートをつくろう」のページを設け、自分の考えを表現することを中心に、言葉・図・式などの表現の仕方や友達のノートの工夫、学習感想を例示している。また、「ふりかえりコーナー」を設け、自分の理解度や内容を自分自身で確認できるようになっている。</p> <p><進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫> ○各題材の導入では、日常生活から問題が出題され、各単元の途中や単元末の「算数のおはなし」「算数新発見」では、身の回りで活用されている場面を探す活動を取り上げ、算数を学ぶよさが分かるよう工夫されている。また、他教科との関連を図った「算数の目で見てみよう」では、学習内容を日常生活で活用する問題が位置付けられている。</p>
	資料	<p>○資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</p> <p>○巻末に算数的活動や資料のページがあり、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</p> <p>○他者の考えを読み取って伝え合う活動場面やノートづくりの例示がある。</p> <p>○垂直や平行のかき方など、作図の仕方を連続写真と言葉で解説するとともに、デジタルコンテンツがホームページに用意されている。</p>
	表記表現	<p>○新しく学ぶ用語や記号、単位等は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</p> <p>○しあげの問題では、学び直しができるようマークでページ数が記載されている。</p> <p>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は枠囲みや色付けで強調されている。</p> <p>○数学的な考え方やヒント等をキャラクターの吹き出し等で例示している。</p>
総括	<p>○児童が目的意識をもって主体的に取り組めるよう、わからない学習内容については自分で学び直しができる構成になっている。</p> <p>○問題解決的な学習を通して、児童が自分の考えをまとめたり、説明したりする活動を促す等、数学的な思考力・表現力を高められるよう配慮されている。</p>	

項目	新版たのしい算数 (大日本図書)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり	<p><基礎的・基本的な知識・技能を身につける> ○目次には各単元の関連する既習事項を明示するとともに巻末には「教科書に出てきた大切なことがら」を設け、算数科の用語や重要事項を確認できる構成になっている。豊富な練習問題により基礎・基本を確実に定着するように配慮されている。</p> <p><見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する> ○数学的な思考力・表現力を育てるために、問題解決型の学習展開が図れるように構成され、多様な考え方を示し、それを基にした話し合い活動を積極的に取り入れている。算数的活動や考え方について振り返り、自分の言葉で表現できるよう工夫している。</p> <p><算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く> ○具体物を用いた作業的・体験的な算数的活動を通して学習できるように配慮されている。学習課題や学習材として、日常生活と関連した教材や学習事項をさらに活用する課題を取り上げ、児童の読解力、表現力、活用力を育てる工夫がなされている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○全学年を一冊の合本とし、学年内の単元間のふりかえりが容易にできるよう構成され数量関係を整理し立式や計算方法を考えるために、「数直線図のかき方」が丁寧に示されている。また、適用問題や単元末の「まとめの練習」のあとに、題材ごとにある「復習」や巻末の「レッツトライ」があり、習熟に応じた学習にも対応している。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫> ○巻頭に「算数の学び方」ページを設け、授業の流れに沿ったノートの書き方を例示し、自分の考えや友達の考え方を表現できるようにしている。「もっと算数たまたまばこ」のコーナーでは、身の回りであることを問題場面とし、解決方法を考えたり説明したりする活動や発展的な問題を取り入れている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○課題解決後に適宜「学習をひろげよう」を設け、算数を発展させながら新しい学習へ主体的に取り組めるような工夫がなされている。また、「まとめの練習」では、わからないとき振り返れるように示されており、自学自習に役立つ工夫がされている。</p> <p><進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫> ○各題材の導入では、日常生活や学校生活に関わりのある写真等を提示して、これから学習する内容と結びつくように配慮されている。また、単元間の「算数たまたまばこ」「もっと算数たまたまばこ」では、興味深いトピック教材を取り上げ、具体的な生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできるようになっている。</p>
資料	<p>○身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</p> <p>○全学年に算数的活動や資料の折り込みページが設けられ、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</p> <p>○補充問題や、教科書に対応する動画がホームページ上に用意されている。</p> <p>○裏表紙に「教科書に出てきた大切なことがら」があり、調べやすくなっている。</p>
表記表現	<p>○新しく学ぶ用語や記号、単位等は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</p> <p>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は枠囲みや色付けで強調されている。</p> <p>○数学的な考え方やヒント等留意すべきポイントをキャラクターの吹き出し等で例示している。</p> <p>○単位時間の区切りのめやすのマークがついている。</p>
総括	<p>○児童が、単元全体の見通しをもち、多様な考え方に気づいたり、振り返りをしたりしながら主体的に学習を進め、児童がつまづきそうな箇所に吹き出しを設けて学習内容を確実に定着することができるような構成になっている。</p> <p>○数学的な思考力・表現力を養う興味深いトピック教材や算数・数学への興味関心を高める話題を扱ったコーナーを豊富に位置付けている。</p>

項目	みんなと学ぶ 小学校 算数 (学校図書)
<p>教育基本法、 学校教育法の 下の学習指導 要領の教科の 目標との関わり</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を身につける> ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付け主体的に学習できるように、内容の系統性が重視されており、既習事項の振り返りや毎時間の問題提示と練習問題がスモールステップで構成されている。</p> <p><見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する> ○筋道を立てて考えることができるように「算数でよく使う考え方」として、類推・帰納・演繹等の考え方を具体的な場面で示されたり、話し合いや発表する活動を写真で示したりして数学的な思考力・表現力の育成が図られるように工夫されている。</p> <p><算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く> ○これまでの生活経験を振り返り、日常場面から算数を使って解決する課題を提示し、作業的・体験的な活動等の算数的活動を通して、学習したことを日常の生活場面に活用したり、発展的な学習に取り組んだりできるような工夫がされている。</p>
<p>内容</p> <p>特色</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○作図方法、表、グラフのかき方などについて、スモールステップで提示されている。また、題材ごとの「練習」「力だめし」に加え、巻末に「力をつける問題」があり、その内容も「サポート」「ほじゅう問題」「チャレンジ」と、習熟に応じて練習することができ、基礎・基本の定着を図るための工夫がされている。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫> ○中・高学年の巻頭に「算数でよく使う考え方」のページがあり、問題を解決するときを使う類推・帰納・演繹等の考え方を具体的な例を示しながら解説している。また、「ことば」では、一般的な説明のための文型や算数用語を具体的に解説している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○算数的活動を取り入れたい問題の「活動マーク」、そしてその活動を進めるためのヒントとなる設問が提示され、測る、比べる、分ける等の活動をしなが、興味・関心をもって取り組めるように工夫されている。また、「力だめし」ではチェック欄があり、児童が習熟の度合いを自己評価できるように工夫されている。</p> <p><進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫> ○巻頭の「算数探検隊」のページでは、身近に存在する算数的な事象や教材を紹介し、算数への興味を深めるとともに、算数の有用性に気付かせる配慮がされている。また、これまでの生活経験を振り返る「見たことあるかな」のコーナーを設け、日常場面と学習内容との関連付けを意識させるような工夫がされている。</p>
<p>資料</p>	<p>○身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</p> <p>○算数的活動や資料の折り込みページが設けられ、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</p> <p>○巻頭に学習の進め方や「算数でよく使う考え方」が解説されている。</p> <p>○「ことば」のコラムでは、説明のための具体的な文型や算数用語の解説がある。</p>
<p>表記表現</p>	<p>○新しく学ぶ用語や記号、単位等は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</p> <p>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は枠囲みや色付けで強調されている。</p> <p>○数学的な考え方やヒント等留意すべきポイントをキャラクターの吹き出し等で例示している。</p> <p>○算数的活動を取り入れたい問題については、「活動マーク」がついている。</p>
<p>総括</p>	<p>○児童の興味・関心が喚起できるように、豊かな算数的活動を適宜明示し、主体的に学習が進められるような構成になっている。</p> <p>○巻頭に「算数でよく使う考え方」を示し系統的に学習を進めることができるようになっており、別冊「中学校へのかけ橋」にて中学校へつながる内容が設けられている。</p>

項目		小学算数 (教育出版)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり		<p><基礎的・基本的な知識・技能を身につける> ○基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、学びのつながりを意識し、学年を超えて既習事項を振り返ることができる構成になっている。また、作図や数直線等の描き方を必要な学年で繰り返し掲載し、豊富な家庭学習問題が設けられている。</p> <p><見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する> ○巻頭に問題解決的な学び方を示し、算数的活動を軸とした問題解決のスタイルを授業展開の基本とし、「はてな？」と「なるほど！」の吹き出しで、児童が目的意識をもち、主体的に取り組めるような工夫がされている。</p> <p><算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く> ○単元のまとめでは、学んだことのよさや考え方を振り返る場や学習したことを実生活等に活用することで、算数を学ぶよさを実感できる工夫がなされている。</p>
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○高学年では、前学年までの学習内容を巻末「学びのマップ」にまとめ、学年を超えて既習事項を振り返ることができるよう工夫されている。また、題材ごとに「まとめ」「ちからをのぼそう」の問題があり、右側注には学習内容を振り返って確認したり、レベルアップの問題に進んだりできるためのページが記されている。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫> ○「学びの手引き」として「算数で使いたい考え方」や「友だちのノートを見てみよう」「数直線の描き方」等のページを設け、問題を解決するときの基本となる内容が示されている。また、「言葉の広場」「算数メモ」「身のまわりの算数」など、日常使う言葉と算数の用語をリンクさせ、言語活動を充実させるための工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○子どもの言葉で表現された「はてな？」「なるほど！」の吹き出しで「学習のねらい」と「考え方のまとめ」を示されており、目的意識をもって主体的に学習に取り組める工夫がされている。巻末の「ステップアップ算数」に、「きほんの問題」「レベルアップ問題」があり、児童が自分の力に応じて主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p><進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫> ○単元の最後に「学んだことを使おう」を位置づけ、実生活等に活用することで算数を学ぶよさを実感できるよう配慮している。また、高学年の各単元末には、「広がる算数」という発展的・統合的な見方を育てる内容を位置づけ、算数の楽しさを実感したり学習意欲を高めたりすることができるよう工夫されている。</p>
	資料	<p>○身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</p> <p>○算数的活動や資料の折込みページがあり、教具にはミシン目が入っている。</p> <p>○用具の使い方や作図の仕方等の詳しい手順やポイントが各学年に掲載されている。</p> <p>○「学びのマップ」により、学年を超えて既習事項を振り返ることができるようになっている。</p>
	表記表現	<p>○新しく学ぶ用語や記号、単位等は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</p> <p>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は枠囲みや色付けで強調されている。</p> <p>○数学的な考え方やヒント等留意すべきポイントをキャラクターの吹き出し等で例示している。</p> <p>○「まとめ」では、4コマ漫画で子どもの理解を助け、理解を深めるようになっている。</p>
総括	<p>○作業的・体験的な活動や自分の言葉で説明したりする活動等の算数的活動を重視し、目的意識をもって主体的に算数の学習に取り組み、実感的な理解を深めるような構成になっている。</p> <p>○既習事項を生かして問題解決したり、学習したことを活用したりする場を単元や領域、学年を超えた構成により、学習内容の広がりが見え、児童に実感できるよう配慮されている。</p>	

項目		わくわく 算数 (新興出版社啓林館)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり		<p><基礎的・基本的な知識・技能を身につける> ○単元前に振り返った既習事項をもとにして新しい学習に進み、単元末では反復学習を通して、基礎・基本の確実な定着が図れるような構成になっている。他教科との関連や中学校数学への興味を喚起する工夫もなされている。</p> <p><見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する> ○演算決定の根拠や自分の考えを説明する等の算数的活動を多く設定し、論理的思考力、数学的な見方・考え方、豊かな数量感覚が養えるような工夫がされ、読解力や表現力の育成を図っている。</p> <p><算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く> ○児童が既習事項や考え方を活用して調べ、学習感想をまとめる探究活動を取り入れたり、学んだことを実験によって確認したりすることで、実感を伴う理解ができるように配慮されている。</p>
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○単元の導入の前に「準備」の問題が設定されており、既習内容を確認して、新しい学習のめあてをつかむことで新しい単元にスムーズに入ることができるようになっている。また、単元末には「練習」「たしかめましょう」「復習」と3つの段階で問題が組み込まれており、スパイラルを通して基礎基本の定着を図っている。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫> ○「考えを広げよう、深めよう」のページを設け、言葉、式、図等を使って説明する学習を取り入れ、論理的な思考力の育成を図っている。また、「算数資料集」の「わくわく算数ノート」「わかりやすくせつめいしよう」「算数でよく使う考え方」では、ノートの書き方や説明の仕方が具体的に示されており、表現力の育成を図るとともに、学んだことを活用できるように工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○巻頭で「教科書の使い方」「学習の進め方」のページがあり、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。また、「算数の自由研究」「算数実験室」「わくわく算数学習」等のページを設けてあり、学習した内容を活用して、興味・関心をもって主体的に取り組めるようになっている。</p> <p><進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫> ○「学びをいかそう」では、生活に結び付く問題を提示し、「もっと学びをいかそう」では、さらに学習内容を広げられるようになっている。また、算数に関連した自由研究のテーマや自由研究の進め方が示されており、「算数資料集」の「さがしてみよう」コーナーは、身の回りの算数に気付かせる工夫がされている。</p>
	資料	<p>○身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</p> <p>○巻末に算数的活動や資料のページがあり、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</p> <p>○分度器等の切り取り教具を設け、統一的な指導がなされるようになっている。</p> <p>○巻頭に教科書の使い方及び学習の進め方が示されている。</p>
	表記表現	<p>○新しく学ぶ用語や記号、単位等は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</p> <p>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は枠囲みや色付けで強調されている。</p> <p>○数学的な考え方やヒント等留意すべき点をキャラクターの吹き出し等で示している。</p> <p>○必須内容の本編のページと、個に応じて取り組める算数島のページが用意されている。</p>
総括	<p>○「復習→準備→単元→練習・復習」という展開を基本とし、既習事項を確認しながらスパイラルな学習を通して理解が深められるような構成になっている。</p> <p>○文章題単元を設けて数学的な考え方を取り上げることにより、論理的な思考力を高める工夫がなされるとともに、様々なテーマについて調べ、レポートにまとめる探究活動を取り入れ、創造する能力や態度を養う工夫もされている。</p>	

項目	小学算数 (日本文教出版)
教育基本法、 学校教育法の 下の学習指導 要領の教科の 目標との関わり	<p><基礎的・基本的な知識・技能を身につける> ○基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るために、単元前に既習事項を確認したり、単元末では学習した内容や今後の学習のもとになる内容を確認めたりできるような構成になっている。復習の最後にも間違えやすい問題を重点的に取り上げ、つまづきへの対応を図っている。</p> <p><見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する> ○問題解決的な学習の手順や着眼点、展開例の明示や、考えた過程や学習のまとめの書き方を示し、わかりやすく整理されたノートづくりを通して、思考力・表現力の育成を図っている。また、図による表現と思考を結びつけることを意識し、言葉、数、式、図などの多様な数学的表現の関連を整理する工夫がされている。</p> <p><算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く> ○作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に生かす活動を取り入れ、実感を伴って算数を学習することを通して、算数の価値や算数の意義を感じられるような工夫がなされている。</p>
特 色 内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○「次の学習のために」のページが設けられ、既習内容を復習・確認してから学習するようになっている。また、単元末の「たしかめポイント」では単元で学習した内容を「わかる→できる→考えられる」と段階を追って取り組めるようになっており、巻末の「じっくりチェック」では、今後の学習内容を確認められるようになっている。</p> <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫> ○巻頭に「さあ、算数の学習を始めよう」を設け、見通しもって解決し、考えを発表する学習の進め方、ノートの書き方、教科書の使い方、既習の内容が示されている。巻末の「考える力をのぼそう」では、学習したことを確かめたり、広げたり、深めたりする内容が扱われている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○単元の導入で、学習に対する意欲を高められるよう工夫され、「なるほど算数コーナー」も、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようになっている。また、巻末の「算数マイトライ」では、子どもの実態に応じた柔軟な取り扱いができるように問題を集め、補充的な内容と応用的・発展的な内容のバランスに配慮している。</p> <p><進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫> ○「いち・に・算活」では、発展的な課題や実際の場面に活かす活用例が示されている。また、各題材の終わりの「ぐっとチャレンジ」及び巻末にある「算数をいかそう」「算数に楽しもう」「考える力をのぼそう」では、応用的・発展的問題、活用や探究につながる課題解決の喜びが感じられるような問題を取り上げている。</p>
資料	<p>○身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。 ○巻末に算数的活動や資料のページがあり、切り取り用教具にはミシン目が入っている。また、「学び方ガイド」では、切り取って常時使用することができるようになっている。 ○指導用教材として、デジタル教科書が用意されている。</p>
表記 表現	<p>○新しく学ぶ用語や記号、単位等は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。 ○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は枠囲みや色付けで強調されている。 ○数学的な考え方やヒント等留意すべき点をキャラクターの吹き出し等で示している。 ○横長の AB 判の側注を利用して、ヒントや発展問題のページ等が記載されている。</p>
総括	<p>○系統性を重視して学習のつながりを示したり、問題解決的な学習の展開を工夫したりして、主体的な学習を促し、算数を学ぶ意欲や習慣が向上する構成になっている。 ○理由や方法を説明させる記述式の問題を扱い、数学的な見方・考え方を身に付け、算数を活用する力を高めることに配慮されている。</p>